

関係各位

いつもお世話になっております。

北海道も連日夏が続く、本格的な夏がやってきました。

9月6日～7日に開かれる「第8回全国高齢者ケア研究会先進事例フォーラム in 東京」のプログラム、開催要項、申し込み用紙ができあがりましたのでご案内させていただきます。

高齢者ケア研究会は、今まで北海道網走市で開催していましたが、今回初めて、東京都での開催となります。

内容は、6日が「地域包括ケアの未来」をテーマに、日本の高齢者ケアの今後10年を左右する地域包括ケアで成功するためには何が必要なのかを考えます。

見所は、特別養護老人ホームや老人保健施設の待機者がほとんどなく、日本で最も進んだ地域包括ケアを実践している北海道美瑛町的美瑛慈光園の安倍信一理事長、日本で最も古くから地域包括ケアを展開をしているアザレアン真田の宮島渡常務理事、都市型地域包括ケアのモデル施設をつくられた医療法人博仁会の鈴木邦彦理事長と地域包括ケアのこれからに必要なことを話し合います。

地域包括ケアの生みの親とも言われている厚生労働省の香取照幸政策統括官もシンポジウムに参加の予定です。

7日は、特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、サービス付き高齢者住宅など、入居系事業所で必要なグレードアップケアがテーマです。

グレードアップケアは、重度化が進む日本の入居系事業所のために、ユニットケアの先進施設によって作りだされた新しいケアです。

グレードアップケアの最新の情報をお伝えします。

今回は、「朝の申し送り」についてのセッションが一番のみどころです。

「朝の申し送り」は、施設のケアの実力がダイレクトに反映される場所です。

先進施設と一般的な施設の申し送りには、驚くほどの差がついています。

先進施設の申し送りのポイントと実際を解説します。

来年からはまた、開催地は北海道に戻ります。

ぜひ多くの方をお誘いいただき、ご参加ください。

下記ブログにも、詳細が載っています。お目通しいただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

<http://izumidateruo.cocolog-nifty.com/blog/>

特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑  
波潟 幸敏